

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 エペソ 6:10-11………… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 36番
- *交読文 …………… 27番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 170番
- 礼拝のための祈り ……… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …………… 393番
- メッセージ …………… そしられる原因である「崩された城壁」を再建せよ(ネヘミヤ 2:17-20)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 390番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

起きよ、光を放て。____の光が臨み、主の栄光が____の上へのぼったから。見よ、暗きは地をおおい、やみはもろもろの民をおおう。しかし、____の上には主が朝日のごとくのぼられ、主の栄光が____の上にあられる。もろもろの国は、____の光に来、もろもろの王は、のぼる____の輝きに来る。(イザヤ 60:1-3)

さあ、われわれは再び世のはずかしめをうけることのないように、城壁を築こう。……彼らは「さあ、立ち上がって築こう」と言い、奮い立って、この良きわざに着手しようとした。ところが敵がこれを聞いて、____をあざけり、____を侮って言った、「____達は何をするのか、王に反逆しようとするのか」。____は彼らに答えて言った、「天の神が____を恵まれるので、そのしもべである____は奮い立って築くのである。しかしあなたがたはエルサレムに何の分もなく、権利もなく、記念もない」。(ネヘミヤ 2:17-20) 怒りをおそくする____は勇士にまさり、自分の心を治める____は城を攻め取る者にまさる。(箴言 10:18-22)

ネヘミヤといえば、バビロン捕囚後のエルサレムの城壁を再建した人である。神の民であるはずのイスラエルは、なぜバビロン捕囚という恥辱を味わったか。それは彼らは主に對し失礼ばかり働き、預言者の警告にも聞かず、好き放題、罪に罪を重ねたためだ。それで敵が好き放題、家も財産もめちやくちやにされ、奪われ、貧しい底辺生活へ投げ込まれた。それは自業自得とも言えるが、それでも主は立て直して下さる。私達はいかして、そのように破綻してしまっただけの人生の建て直しが出来たら。ネヘミヤ記から学びたい。

ネヘミヤは、エルサレムの城壁が破壊されたままだと聞くと、かつて無いほどの憂いと悲しみに襲われた。もし「城壁」が崩れたままなら、経済や子育てを立て直そうとしても良いように敵が出入りし、踏みにじり、嘲り、奪って行くままだ。ネヘミヤは、その状態を看過できなかった。『わたしはついに彼らに言った……さあ、われわれは再び世のはずかしめをうけることのないように、エルサレムの城壁を築こう』(ネヘミヤ 2:17)

私達も諸々の「世のはずかしめ」がある。病や経済的貧困というはずかしめ、あるいは、悪霊由来の、「自分はダメだ」「無駄だ」などという罵声など。それらに對し、一刻も早く城壁を築いて対抗すべきだ。そして、真っ先に対処しなくてはならないのは「怠けぐせ」である。ネヘミヤが総督に任命されエルサレム入りしたのはBC445年と言われている。バビロン捕囚の終わりはBC537年なので、実に92年も、皆が、「いつかしよう」「誰かがしてくれるだろう」と思っていて、結局92年間も放ったらかしにしていた、という事だ。再建すべきなのに、しない。働くべきなのに働かない。成すべき良い事が示されているのに、それをやらない。しばらく眠り、しばらくまどろみ、手をこまぬいて、またしばらく休む。そのような者の畑の有様は、「いばらが一面に生え、あざみはその地面をおおい、その石がきはくずれていた」(箴言 24:31)状態である。ネヘミヤは情熱をもって再建に取り掛かり、人々もまた共にチームワークを組んで仕事に当たった。

人が、人生の再建にとりかかろうとする時、必ず、それを快く思わない「敵」が邪魔しに出てくる。『ところがホロニ人サンバラデ、アンモン人奴隷トビヤおよびアラビヤ人ガシムがこれを聞いて、われわれをあざけり、われわれを侮って言った、「あなたがたは何をするのか、王に反逆しようとするのか」。』(19節)

敵は、再建の行動を、「良くない事」と思わせて、罵ってくる。人生がこれ以上、大切な時間や経済や健全さが奪われないように城壁を築く頑張りや、何か、悪い事をしているかのように。キリスト者は上着を取られれば下着も差し出すべきではないのか、貧しく清く美しくするべきではないのか、それを何だ、欲を出して反逆しようとしているのか、などと。そのように囁いてくる嘲りの声に對し、ネヘミヤはどうだったか。『わたしは彼らに答えて言った、「天の神がわれわれを恵まれるので、そのしもべであるわれわれは奮い立って築くのである。しかしあなたがたはエルサレムに何の分もなく、権利もなく、記念もない」。』(20節)

そうである。一緒に礼拝せず、一緒に御言葉を守り行っただけでもない者達には、神の民が受ける分け前に与かる権利は一切なく、そのような主の記念のない者に好き放題言われる筋合いは一切、無いのだ。人生の再建のわざを「悪いこと」呼ばわりする者に對し、良心のとがめを受ける必要は、一切無い。

私達が御言葉を守り行くと決心して行動し、主にあつて良い実を結んでいるなら、そのような者達に對し、ネヘミヤのように言葉で宣言するのだ。「天の神が私達を恵まれるので、そのしもべである私達は奮い立って築くのである」と。そして行おうとしている事を、明確な主の示しとして自信をもって取り組めば良いのだ。『人は自分の言葉の結ぶ実によって、満ち足り、そのくちびるの産物によって自ら飽きる。』(箴言 18:20)

「くちびる(へ:サファー)」は、英語の lip のように「縁(ふち)」「境界」の意味もある。だから、心の内にある信仰が、唇という「境界線」を越え、世に音波として出た時、天地万物の支配者なる主との関係が世に對して示され、適用され、世の諸々の呪われた仕組みから救われる。だから、敵に對し(たとえ実感が無くても)「御言葉」を発するなら、それが防護壁となり、もし超えて来ようとするなら、御言葉が、その者と対決する。逆にも、心に怒りや憎しみが沸き起こったとしても、唇という境界線を越えさせずに黙っているなら、それは勇士にまさり、城を攻め取る人にまさる人である。(箴言 16:32)

人生の城壁の再建は、まず、崩れている現状を悲しみ、なまけから脱却し、立ち上がって、行動する所から始まる。そして、敵が(あるいは心の声)言いがかりをつけて来た時には、真理の御言葉という両刃の剣を唇から発し、敵のたくらみを打ち砕き、城壁をすみやかに再建していく皆さんでありますように！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ/賛美 12:30～
2部礼拝 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜礼拝

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也 川合ゆきえ

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube